

令和3年度事業報告

I 法人の状況に関する重要な事項

1 事業概要

小松島市シルバー人材センターは、健康で働く意欲のある高齢者に、長年培った技術や経験を活かした就労の場を提供することにより、高齢者の生活水準の維持や生きがいの充実を図っています。また、就労やボランティア活動などの社会参加により地域づくりにも寄与し、地域から信頼される魅力あるシルバー人材センターを目指し、事業を推進してきました。

しかし、新型コロナ禍の影響により、中止や縮小を余儀なくされた事業もありましたが「自主・自立・共同・共助」の基本理念のもと「高齢者に就業機会を提供すること」「高齢者の生きがいの充実及び社会参加活動を推進すること」及び「地域社会へ貢献すること」が重要な役割であるとの認識に立ち、会員・役員・職員が一丸となって、事業計画に基づき事業推進に取り組んできました。

重点目標に掲げていた項目では、

- 1 会員拡大の推進は、特に本年1月から3月に入会する会員については、連合の新規入会者年会費ゼロキャンペーン事業に取り組み、3月には入会説明会を2回実施し、会員数は昨年比10人増加しましたが、残念ながら第2次百万人達成計画で求められている人数（148人）を達成（年度末会員数139人 達成率93.92%）することができませんでした。
- 2 就業機会の確保・拡大の推進は、新型コロナ禍にも関わらず請負契約はほぼ前年同額、派遣契約についても若干の増収となり、合計では若干の増収となりました。
- 3 「事故ゼロの継続」は、会員及び役職員の努力の結果保険適用事故はなく今年度も達成する事ができました。

事業活動の概要

(1) 公益目的事業

1 会員の確保

会員理事のご協力により定期的に入会説明会を開催し入会促進に努め、今年度の説明会は、3月に2回開催し、年間13回実施しました。

そのほかに、会員募集のリーフレットを市広報10月号に折り込むほか、10月1日にはあいさい広場にて会員募集のリーフレットを配布しました。

また、本年1月から3月に入会する会員については、連合の新規入会者年会費ゼロキャンペーン事業を実施し、会員の確保に努めました。

2 就業機会の確保及びシルバー事業の普及啓発

- ①就業機会の確保とシルバー事業の普及啓発
- ②高齢者活用・現役世代雇用サポート事業の推進
- ③労働者派遣事業及び職業紹介事業の推進
- ④暮らしのちょこっとサポート事業の推進

今年度もサポート事業の補助金がなく臨時職員を雇用することは出来ず、職員のみで①・②・③・④の事業推進に努めています。

⑤独自事業の調査研究

他センターの取組状況を調査研究する予定としていましたが、訪問しての調査研究は新型コロナウイルス感染症のため不可能であり、インターネットだけでの調査研究を余儀なくされ苦戦しています。

3 安全就業

安全就業の徹底

安全委員会を開催し、安全就業についての検討を行なった外、毎月全会員に対し「事務局だより」や全シ協作成の「安全就業ニュース」等を送付し、安全就業及び健康管理意識の向上に努めています。

なお、今年度も、保険適用事故は発生していません。

4 適正就業

適正就業の推進

県内の他センターに先駆け派遣事業へ参入するなど適正就業に努めてきたところですが、労働局通達及び連合会指導を遵守しなお一層の推進に努めています。

5 知識及び技能を付与する事業

連合会主催の育成事業講習会（襖・障子の張替）に参画するほか、2月に小松島市シルバー人材センター独自事業として襖・障子・網戸の張替講習会を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症が流行していたため、中止をしました。

6 社会参加（地域貢献）活動

生きがいの充実

認知症サポーター養成講座（9月29日）を開催し7名の方が参加されました。今年度のボランティア活動（チャリティー阿波踊り・福祉まつり）は、新型コロナウイルス感染症のため実施できませんでした。

7 相談・情報提供

ホームページにて「情報発信」と「情報公開」を行なっています。

7月12日のアクティブシニア活用セミナーにおいて、小松島市民に対してシルバー人材センターの説明会を、県連合会とともに参画する予定でしたが小松島市民の参加がなかったため中止しました。

8 調査・研究

先進センターへの視察研修は新型コロナウイルス感染症のため現在は実施できていません。

9 その他

①会員ポイント制度の推進

会員による自主的な組織運営を推進するための基礎として、今年度より会員ポイント制度を実施しました。会員の皆様からはあまり反響がありませんでした。

獲得ポイントによる報奨の対象になる会員さんは、1名いらっしゃいました。

②就業以外の分野での魅力ある組織づくりの調査研究

会員相互の交流や絆を深めることが出来るため、現在休眠状態となっている同好会活動について、組織の在り方や活動方法等について調査研究を行いました。

③(公社)徳島県シルバー人材センター連合会等主催の会議等への参画

事務局長会議 (Zoom) ・安全適正担当者会議等に参画しました。

④代理 (コンビニ) 収納

令和2年度の6月下旬より開始したコンビニ収納は、令和2年度939件のうち211件 (22.4% 6月～3月)、令和3年度は、554件のうち349件 (63.0%) の利用がありました。

(2) 法人管理

1 業務執行体制の整備

下記会議等を開催した。

監 査：	4月24日 (令和2年度分)
理 事 会：	4月27日 (第1回)
理 事 会：	5月19日 (第2・3回)
定時総会：	5月19日
監 査：	11月 1日 (令和3年度上半期分)
理 事 会：	11月29日 (第4回)
理 事 会：	12月21日 (第5回) 書面決議
理 事 会：	3月24日 (第6回)

2 事務局機能の充実

徳島県主催の農薬適正使用研修会等は、新型コロナウイルス感染症予防のため Zoom により開催し、参加しております。

3 消費税の適格請求書等保存方式 (インボイス制度) への対応

令和5年10月1日から導入される予定の「適格請求書等保存方式 (インボイス制度)」について、調査研究を行ない制度開始に備えます。